



第29回日本乳癌学会学術総会

会期：2021年7月1日(木)～3日(土)

会場：パシフィコ横浜ノース/オンデマンド配信(ハイブリット開催)

会長：井本 滋 先生(杏林大学医学部乳腺外科 教授)



ランチオンセミナー 4

セミナーテーマ

最強の超音波診断技術、伝授します

座長
演者

植松 孝悦 先生

静岡がんセンター
乳腺画像診断科 兼 生理検査科

診断カテゴリーに基づく
推奨マネジメントと shared decision making
— precision medicine を提供するための
comprehensive breast ultrasound の重要性 —

演者

榊原 淳太 先生

千葉大学 臓器制御外科学

Fusion 達人が考える診断情報の増やし方
— 基本機能の活用が
shared decision making 成功の秘訣 —

座長のお言葉

乳癌診療が遺伝子情報に基づくがんゲノム医療に代表される Precision medicine (個別化医療) へとシフトしていく中で、乳がん検診や乳房画像診断のあり方も今後大きく変わっていく必要があります。また、個人の価値観も尊重した Shared decision making (共有意思決定) を実践する乳癌診療が基本であり、医療の質を担保する正確な診断カテゴリーに基づいたマネジメントが重要となります。診療方針決定や治療効果判定を目的とするモダリティとして乳房 MRI が主流ではありますが、近年は B-mode/Strain Elastography/Doppler の3つの基本機能を総合的かつ相補的に使用した Comprehensive breast ultrasound が注目されています。

今回、超音波 fusion 技術の達人でもある榊原先生に最新テクノロジーを搭載した ARIETTA 750 を使用した最強の超音波診断技術について解説して頂きます。本セミナーで取り上げる乳房超音波診断技術が、明日からの乳癌診療における Precision medicine の実現化への一助となれば幸いです。

植松 孝悦

2021年7月1日(木) 11:50～12:40

第4会場 (G314・G315) / ライブ配信



※ 共催セミナーの現地参加にあたっては会場内の混雑防止・待機列緩和のためオンラインで「セミナー現地参加予約」を実施しております。
登録方法、詳細につきましては学術総会 HP にてご確認ください

<https://site2.convention.co.jp/29jbcsc/>